

## 平成22年度 海外派遣教員を励ます会

平成22年2月27日(土)に上記の会が、岡山アークホテル1Fレストランで開かれました。岡山駅の近くで、便利が良く、貸しきりでも良心的な料金のため、本会の行事としておなじみの会場でした。

参加者は30人で、今回派遣される4人全員が参加されました。それでは、以下に会の様子をお知らせいたします。



南隆仁先生は、美咲町立旭中学校からミュンヘン日本人学校に派遣されます。先生は奥様を同伴され出席されました。保健体育の教師で、中学部の体育を担当するほか、小学校5年生の担任と決まっているそうです。初めての体験に希望を膨らませていました。海外派遣の動機は、小学校5年生から2年間近く、クアラルンプール日本人学校で学び、6年生の時の担任が現在シニア派遣でワシントン補習校の校長を務めておられる斉藤先生だったからだそうです。岡山県の代表として、恥ずかしくないようにしっかりと仕事に打ち込みたいと抱負を述べられました。また、奥様は同じく中学校の英語教師で、休職して同行されます。英語以外のドイツ語も習得できるチャンスに意欲をもっておられました。



小野剛一先生は、総社市立総社小学校からハノイ日本人学校に派遣されます。教職10年が経過して何か新しいことに挑戦したいというのが動機だそうです。海外旅行は初めてということで、本会の経験豊かな先生方からのアドバイスを熱心に聞いておられました。奥様は、配偶者研修会で多くの方が教員だったことに驚いたそうです。司会の村尾先生が、まだ7ヶ月のお子様に話を聞こうとして一同大笑いになり、なごやかなムードに包まれました。



高木恭子先生は、岡山市立芳泉中学校からクアラルンプール日本人学校に派遣されます。英語が担当で、大規模校のため現地でも中学部の担当になるそうです。東南アジアが好きで、すでにクアラルンプールは、訪れたことがあるということでした。また、本会の主催する研究会にはもう何度も参加されていて、勉強させてもらったと感謝の言葉を述べられました。帰国したら、海外の貴重な経験を岡山の子ども達のために、しっかりと生かしていきたいと話されました。



山口佳子先生は、早島町立早島小学校から台北日本人学校に派遣されます。今回即派遣ということで、先月知らせを受けた時は慌てたそうです。この会に参加し、岡山県にもたくさんの先生が国際理解教育を進めるためにがんばっていることを知って、大いに励まされたということでした。先生は、愛媛県の過疎地に生まれ、小学校や中学校は同級生が10人ほどしかいなかったそうです。でも、高校や大学でたくさんの人と出会い、それが夢を広げ自分を成長させたと感じたそうです。台湾日本人学校経験者の片山先生はじめ何人もの先生から、台湾の生の話を聞いて、目を輝かせておられました。

今回の壮行会では、会員の先生方から貴重なお話がたくさんありました。最後にいくつかを紹介します。

#### 山本正会長

今回岡山県から派遣される4人の先生方が、準備で忙しい中を全員参加してくださってありがとうございます。期待と不安で気持ちが高まっていると思いますが、まずは元気で赴任されるように望んでいます。現地では、先生方を待っている人たちがいるということを忘れず、実り多い研修としてください。また、本会のホームページにもアクセスしたり、情報を寄せたりしてください。



#### 森崎岩之助顧問

海外派遣という体験は、本などで学習した知識と違い、とても貴重なものです。子ども達は、自分の体験を自分の言葉で話す先生達から、学習意欲をもったり夢をもったりします。現地では大変なことも多いでしょうが、人間は苦労するほど、大きく成長するものです。振り返れば、行ってきて良かったと、必ず思うことでしょう。健康に留意して、いい研修をしてきて下さい。



#### 武泰稔顧問

先月の研究大会は、たくさんの参加者があり、印象に残るすばらしい会でした。今日は派遣者の皆様おめでとうございます。未永く出席し、本会を盛り立てましょう。今回派遣される先生方、言葉は何とかなります。現地に飛び込んで行って岡山県の代表としてがんばってきてください。また、帰国後も本研究会の核となって活躍してください。

